

2010（平成 22）年度活動報告

部会長 狩野 啓子

- 4 月 23 日 徳島のすくも製作者新居修氏来学。宮中歌会始に「藍甕に浸して絞るわたの糸光にかざすとき匂い立つ」の歌が入選した松枝哲哉氏の祝賀会（研究部会主催）に新居氏も参加。
- 5 月 18 日 本部で「筑後優品」の打ち合わせ。久留米大学のロゴ入り「筑後優品」の文字を知的財産本部が商標登録申請の予定。
- 27 日 松枝哲哉氏工房藍生庵で、クララ染色実験の準備。後日、染色を実施。
- 6 月 14 日 狩野、医学部小児外科部門八木実教授を訪問、クララ参考文献についてのご教示を依頼。後日、参考文献を提供していただいた。
- 24 日 上宮、ザウテルシバンムシの防虫効果テスト準備、和紙豆本の作成。
- 26 日 文化財研究部会研究会で、狩野・上宮・松枝哲哉氏・近藤早苗氏が話題提供。八木教授のご紹介により参加したツムラ社員がクララの追加関連資料を持参された。
- 7 月 31 日 文化財研究部会研究会（展示準備）。
- 8 月 6 日 六つ門サテライトキャンパス・オープニング、高等教育コンソーシアムの『「筑後優品」誕生物語 序章』展示開始（12 日まで）。（*ポスター参照）
- 28 日 文化財研究部会研究会。
- 10 月 4 日 上宮、BG 液にて自然（非加熱）抽出クララエキス抽出開始。
- 6 日 松枝哲哉氏作「遥光」日本伝統文化工芸展会長賞受賞祝賀会。
- 21 日 文化財研究部会研究会。
- 24 日 源太窯と藍生庵の見学。
- 11 月 5 日 上宮、八女市宮野公園植栽用としてクララ苗 150 本余を提供。
- 22 日 研究会で和紙と久留米緋のビデオ編集。
- 28 日 中野三敏先生文化功労章受章祝賀会。
- 12 月 6・7 日 中華人民共和国甘肅省博物館で開催された第 4 回東アジア紙文化財保存修理シンポジウムに、狩野啓子・松枝哲哉（研究協力者）・溝田俊和（研究協力者）の 3 名が参加。
- 6 日 上宮、クララエキスにアロエベラを加え、保湿液（BG:ブタンジオール）50%精製水中で抽出開始。
- 1 月 22 日 狩野、八女伝統工芸館で『和紙大鑑』調査。
- 28 日 農商工テクノブリッジ 2010（平成 22 年度知財先進都市支援事業）で「防虫クララ和紙」発表（狩野）。（*ポスター参照）
- 2 月 5 日 狩野と溝田俊和氏、大川に手漉き和紙伝統製法実験用の銀杏板を見に行く。

- 28日 八女市JA女性リーダー研修「八女市中山間地域における耕作放棄地対策と新規作目の研究に対する研修会」に狩野・上宮が招聘され、「クララの薬効」を話す。
- 3月14日 狩野、パリで修復専門家マリ・クリスティン氏夫妻と面会。
- 15日 狩野、ロンドンで大英博物館の修復専門家杉山恵助氏と面会。
- 31日 中野三敏文化講演会「和本リテラシーって何？」(高等教育コンソーシアム)主催。(＊ポスター参照)

今年度も、九州国立博物館が進めているIPM普及活動に研究部会として協力した。

上宮は、2009～2012 農林水産省領域特定型研究「チャの新害虫ミカントゲコナジラミの発生密度に対応した戦略的防除技術体系の確立」(設定型受託研究)に引き続き参加した。

(文責 狩野 啓子)